令和 8年10月26日（月） 令和8年度　第2回 大阪府河川整備審議会	資料2－2

大川水系大川河川改修事業の事業評価について

◎　今回の事業評価について

1. 事業概要
2. 事業の必要性等に関する視点
3. 事業費の変動要因
4. 事業の投資効果と進捗状況
5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
6. 事業効果の定性的分析
7. 特記事項
8. 対応方針（案）

今回の事業評価について

- 大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の一層の向上を図るため、建設事業評価を実施している。
- 河川事業・ダム事業については、大阪府河川整備審議会で事業評価を実施している。
  （「大阪府河川事業・ダム事業の事業評価（平成28年7月 大阪府都市整備部河川室）」）
- 大川水系大川の事業については、R3年度に「大川水系大川河川改修事業の事業評価について」の審議をもって事業再評価としており、再評価後5年を経過するため、R08年度に事業評価を実施するもの。

≪事業評価について≫

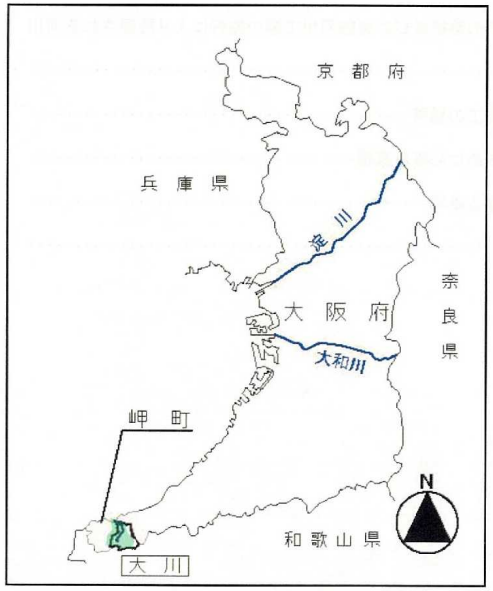
	再評価（再々評価）
目的	事業継続の妥当性を判断するとともに、より効率的な実施方法等を検討する。
対象	総事業費10億円以上の事業
評価時期	・事業計画の大幅な変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・❶ ・事業採択後5年未着工、事業採択後10年継続 ・再評価後5年継続毎（事業未着工のものは除く） ・総事業費の大幅な変更 ・その他評価の必要が生じた事業　❷
評価の視点	・事業状況（事業計画等の変更及び今後の進捗見通しを含む） ・事業を巡る社会経済情勢の変化 ・費用便益分析等の効率性 ・安全・安心、活力、快適性等の有効性 ・自然環境への影響と対策
審議方法	❶の場合は、河川整備計画（案・変更案）の審議・了承 ❷の場合は、再評価調書により審議

※「大阪府河川事業・ダム事業の事業評価（平成28年7月 大阪府整備部河川室）」より抜粋

1．事業概要

流域の概要

- 流域市町：大阪府岬町
- 流域内の土地利用は、山林が大きな割合を占め、私有林が83%となっている。下流は市街化区域に区分されており、中流から上流では農地や集落が存在する。
- 大川の近傍には、南海本線や南海多奈川線の鉄道網や第二阪和国道の深日ランプ、大阪府道752号和歌山阪南線の道路網が集中しており、周辺地域における交通の要所となっている。
- 昭和27年7月洪水において、甚大な被害が発生したことを契機に、上流に農地防災と上水道水源を目的とした逢帰ダムを昭和43年に建設されている。



大川流域



河川延長等一覧表

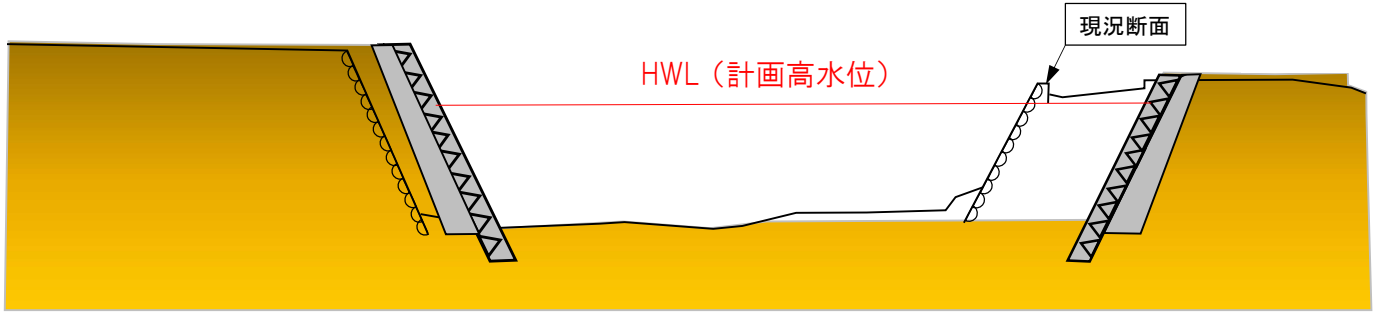
河川名	指定区間延長（km）	流域面積（km²）
大川	4.9km	13.7km²

1．事業概要

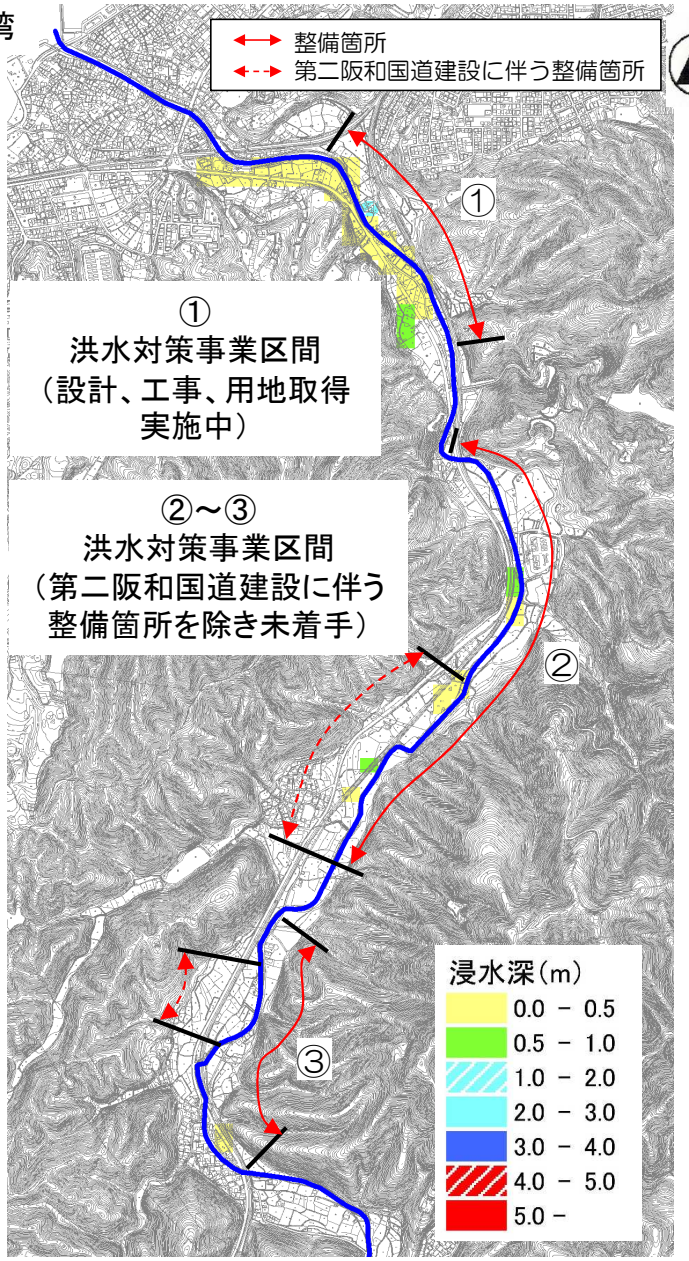
事業内容

- 大川では事業効果等を考慮して、時間雨量50ミリ程度の降雨（10年に1度程度発生する恐れのある降雨）による洪水で床下浸水を防ぐことを当面の目標として整備を行います。
- 整備対象区間において、河道掘削および拡幅により洪水対策を実施します。

河川	整備対象区間	延長	整備内容
大川	①南海橋周辺 （1.05km～1.65km）	約0.53km	河道掘削及び拡幅、護岸補強、堤防・低水路等の整備を実施する。 ③区間については、宅地嵩上げや宅地移転による対策も検討する。
	②棟合橋上流～下孝子地区 （2.00km～3.70km）	約1.34km	
	③下河原橋周辺～中孝子地区 （4.00km～4.90km）	約0.70km	



整備断面例　河道掘削及び拡幅　横断図



整備対象区間平面図

計画対象期間
計画策定（H27年）から概ね30年

1．事業概要

①洪水対策事業区間の実施状況

- 南海橋周辺の改修にあたっては、詳細設計が完了し、R12の完成に向けて工事を実施中である。



❸現地状況

❶現地状況



❷現地状況



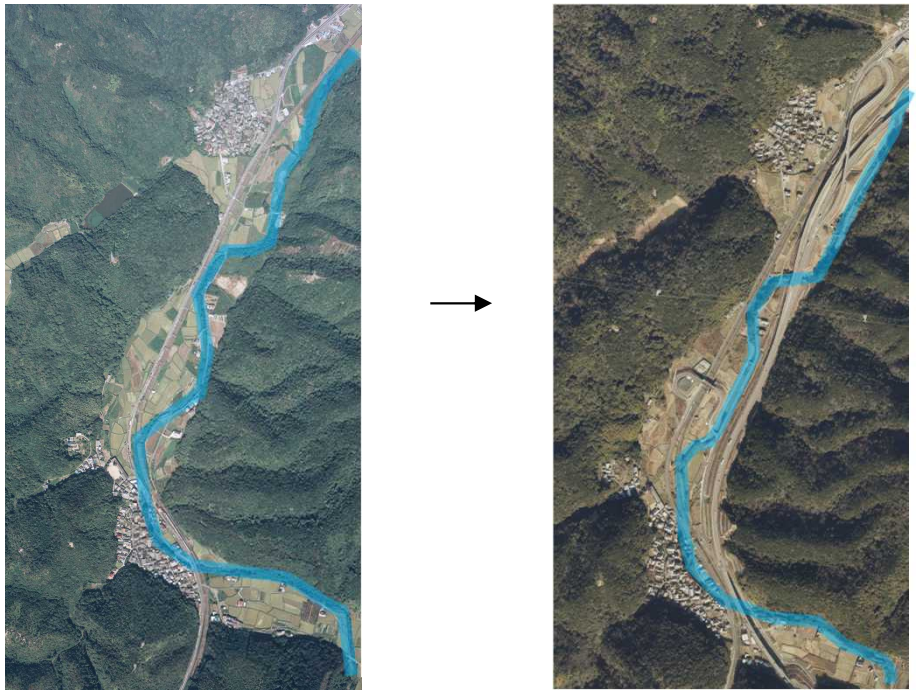
1．事業概要

②、③の洪水対策事業区間における
第二阪和国道の建設に伴う整備状況

- 第二阪和国道の建設に伴い、国道と並走する大川区間について、河道付け替え整備が完成（国交省による事業）している。
- 工事による上流での河道断面が広がらないようふとんかごを設置している。



第二阪和国道の建設に伴う河道付け替え



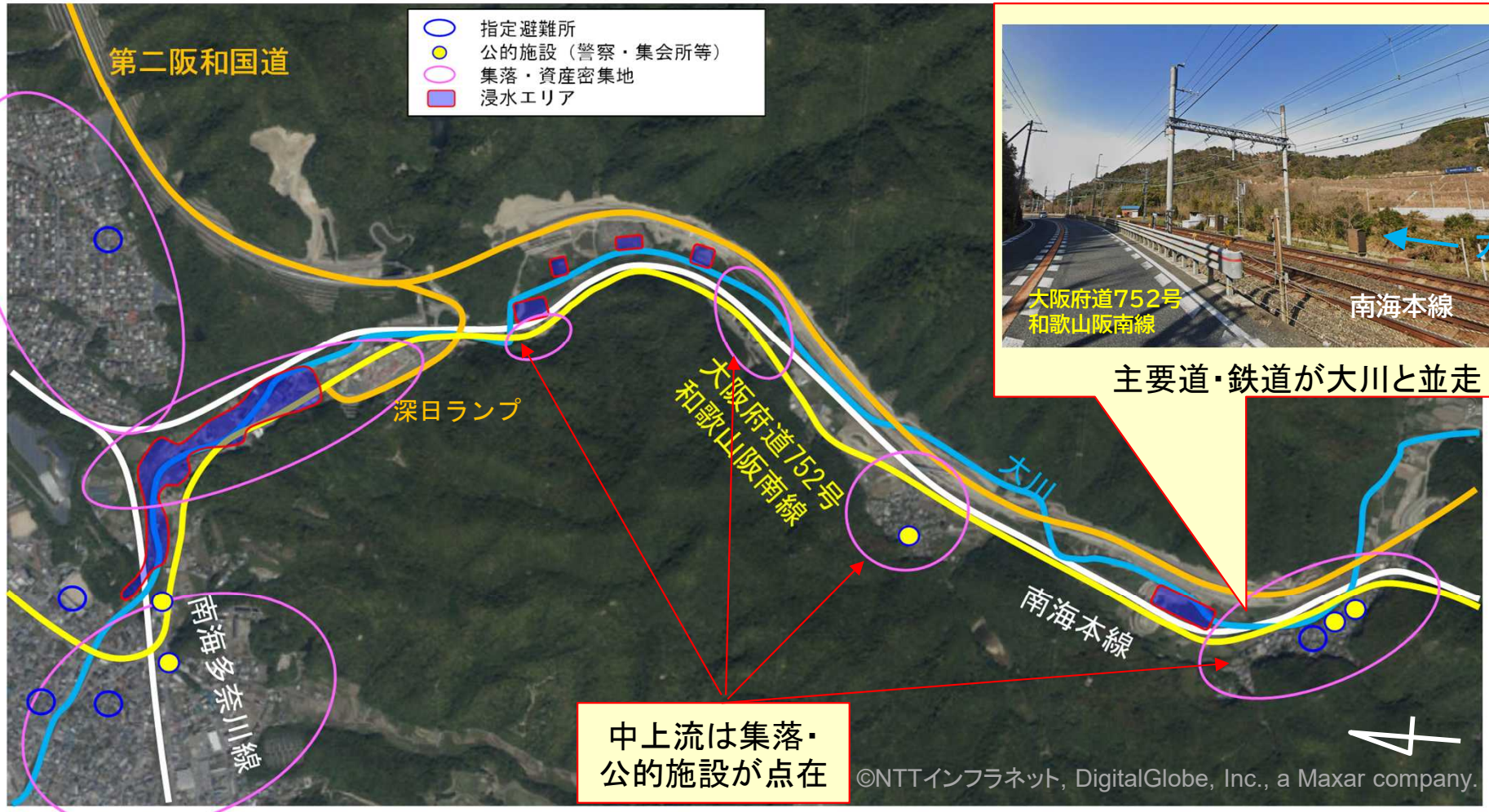
❶ 現地状況



2．事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化
【洪水発生時の影響】

- 浸水想定範囲の近傍には、南海本線や南海多奈川線の鉄道網や第二阪和国道の深日ランプ、大阪府道752号和歌山阪南線の道路網が集中しており、周辺地域における交通の要所となっている。
- 事業箇所を並走する鉄道網の浸水による運行支障・停止は、周辺地域への影響が大きい。
- 中上流は集落が点在するため、移動経路の分断は地域の安全の確保への影響が大きい。
- 大阪府道752号和歌山阪南線は地域の避難路にもなるため、安全性の確保が必要である。



2．事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会
経済情勢等の変化
【人口・世帯数・事業所数】

- 岬町の世帯数については、府内の町村平均とは異なり減少傾向を示している。
- 岬町の人口・事業所数・就業者数・高齢者人口については、府内の他町村と同じ変化傾向であり、高齢化が進行しているため、災害時の対応にも配慮が必要となる。
- 浸水区域内人口や家屋が減少しているが、就業者数は増加している。

	前回評価			今回評価			増減率			備考
	岬町	町村平均	大阪府	岬町	町村平均	大阪府	岬町	町村平均	大阪府	
人口	15,938人	18,397人	8,839,469人	14,741人	17,852人	8,837,685人	▲7.5%	▲3.0%	▲0.0%	国勢調査（H27,R02）より
世帯数	6,407世帯	7,076世帯	3,923,887世帯	6,273世帯	7,233世帯	4,135,879世帯	▲2.1%	＋2.2%	＋5.4%	国勢調査（H27,R02）より
事業所数	479所	531所	408,713所	413所	514所	388,048所	▲13.8%	▲3.2%	▲5.1%	経済センサス（H27,R03）より
就業者数	3,873人	4,559人	4,334,776人	3,611人	5,327人	4,655,938人	▲6.8%	▲16.8%	▲7.4%	経済センサス（H27,R03）より
高齢者人口	5,787人	5,273人	2,278,324人	6,104人	5,729人	2,441,984人	＋5.5%	＋8.6%	＋7.2%	国勢調査（H27,R02）より
高齢者率	36%	29%	26%	41%	34%	28%				

河川名	【前回評価】	【今回評価】
大川	浸水想定面積：約10.4ha 浸水区域内人口：約105人 浸水区域内世帯：約45世帯 浸水区域内就業者数：約51人	浸水想定面積：約10.4ha 浸水区域内人口：約91人 浸水区域内世帯：約41世帯 浸水区域内就業者数：約85人

※河川整備計画で定められた10年に1回の降雨規模の浸水面積・浸水家屋（世帯）

3．事業費の変動要因

事業費（前回評価と今回評価の比較）

	全体事業費	工事費	用地費	調査費
前回評価時 R03	約19.1億円 （約1.1億円）	約14.3億円 （約0.0億円）	約2.5億円 （約0.4億円）	約2.3億円 （約0.7億円）
今回評価 R08	約23.5億円 （約7.1億円）	約18.3億円 （約4.4億円）	約2.4億円 （約1.3億円）	約2.8億円 （約1.4億円）

※（　）は投資済み額

事業費の変更理由（前回評価と今回評価の比較）

		区間	延長	内容	前回評価時 （R03年）	今回評価 （R08年）	増減
大川水系	大川	①南海橋周辺 （1.05km～1.65km） ②棟合橋上流～下孝子地区 （2.00km～3.70km） ③下河原橋周辺～中孝子地区 （4.00km～4.90km）	約2.6km	時間雨量50ミリ程度の降雨（1/10年確率降雨）による洪水を対象に整備する	約19.1億円	約23.5億円	＋4.4億円

- 社会的要因（物価、人件費等の上昇）による全体事業費の増加（約4.4億円）

3．事業費の変動要因

事業費の変動理由（社会的要因（物価、人件費等の上昇）による事業費の増加）

- 前回評価時（R3年度）以降、建設業界では急激な建設資材の高騰・労務費の上昇が続いており、想定していた以上の事業費が必要になることが予想される。
- よって、社会的要因（物価、人件費等の上昇）を考慮し、増額となった。（令和3年度以降の残事業費が約18.0億円⇒約22.4億円となり、約1.24倍）

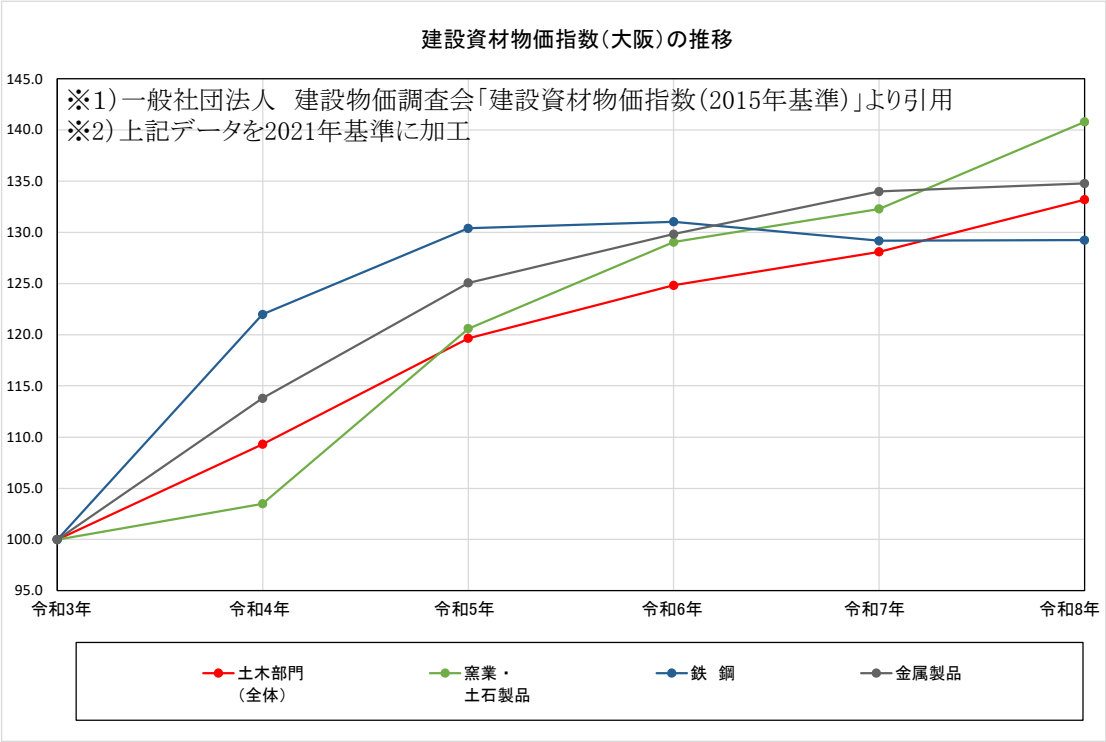
＜参考＞建設物価・人件費単価の状況について

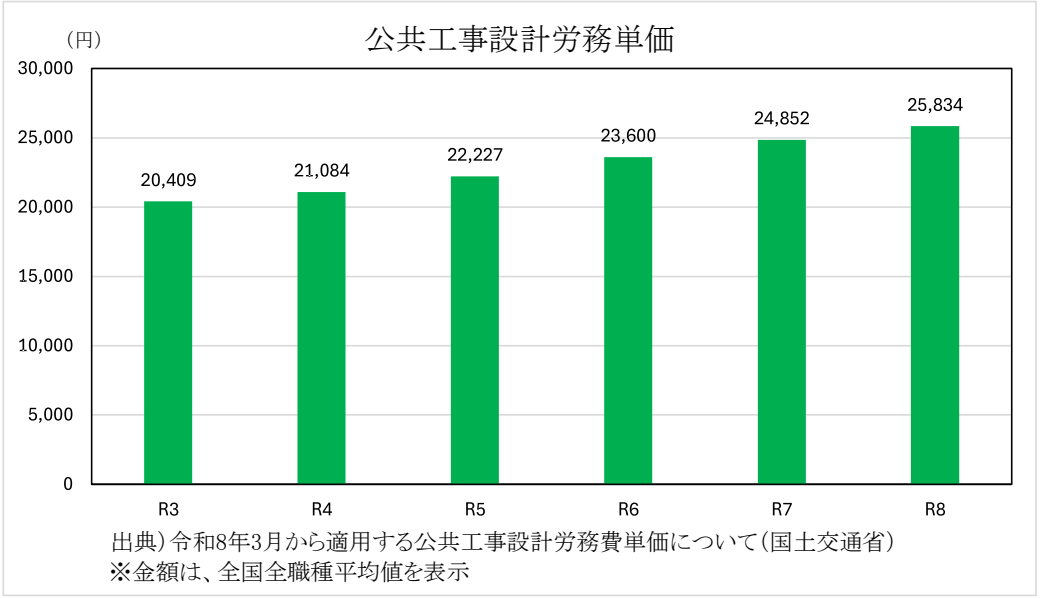
◆2021年基準　建設資材物価指数　　令和3年(2021)年＝100

年	土木部門（全体）	窯業・土石製品	鉄　鋼	金属製品
R3	100.0	100.0	100.0	100.0
R4	109.3	103.5	122.0	113.8
R5	119.7	120.6	130.4	125.1
R6	124.8	129.0	131.0	129.8
R7	128.1	132.3	129.2	134.0
R8	133.2	140.8	129.2	134.8
増加率（対R3年）	133%	141%	129%	135%

窯業・土石製品：生コンクリート、セメントなど
鉄鋼：鋼管など
金属製品：建設用金属製品

- **建設物価は、土木全体で前回評価時（R3年度）より約1.33倍**
- **人件費単価は、前回評価時（R3年度）より約1.27倍**





出典）令和8年3月から適用する公共工事設計労務費単価について（国土交通省）
※金額は、全国全職種平均値を表示

4．事業の投資効果と進捗状況

事業の投資効果【費用便益分析（B/C）】

- 「治水経済調査マニュアル（案）」（国土交通省水管理・国土保全局、令和7年7月）に基づいて、被害軽減効果を河川改修事業の効果（便益）として算出を行った。
- 被害軽減効果の算定にあたっては、費用、評価基準年の更新、デフレータの更新を行い、B/Cを算定した。
- 被害軽減効果に治水施設の残存価値を加算し、便益とした。
- 前回評価以降、基準価格や評価額の増加及び老人ホーム新築に伴う就業者数増加により、便益も増加した。
- 事業費の増加を考慮して費用対効果を算出したところ、便益も増加しているが、費用がより増加したことにより、算定の結果、今回評価におけるB／Cは2．8となった。

河川名	項目	前回評価時 （R03）	今回評価 （R08）
大川	B/C	・B/C=3.0 B= 45.4億円 C= 15.2億円 建設費 13.7億円 維持管理費 1.5億円	・B/C=2.8 B= 62.5億円 C= 22.0億円 建設費 19.8億円 維持管理費 2.2億円

※B（便益）およびC（費用）は、基準年（評価年）に現在価値化した金額です。

4．事業の投資効果と進捗状況

事業の進捗状況、進捗率

〇大川水系河川整備計画（H27年1月策定）及び、大阪府都市整備中期計画（R3年3月）に位置付けて、事業を進めており、令和７年度末で、事業の進捗率は３０％である。

河川	項目	前回評価時 R3	今回評価 R8
大川	①事業採択年度	①H31年	①H31年
	②事業着工年度	②H31年	②H31年
	③完成予定年度	③R17年	③R17年
	進捗率（全体）※	5%	30%

※事業費ベースでの進捗率

5．コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

〇河川整備計画に基づく整備を予定しているが、残土の工事間流用等による更なるコスト縮減や、より効率的な対策等について引き続き検討を行う。

6．事業効果の定性的分析

地元等の協力体制等

- 出水時には、岬町が管理する逢帰ダムによる洪水調節を実施している。
- 岬町では、岬町や大阪府が実施する河川道路整備に関する地元説明のため、「みさきタウンミーティング」を開催している。
- 岬町では、洪水だけでなく、地震津波や土砂災害時の地域特有の災害リスクも踏まえた体制づくりに取組んでおり、鉄扉の操作員を対象とした津波防災訓練を年二回実施している。



令和8年度　第17回　みさきタウンミーティング開催状況
（令和8年　5月実施）



津波防災訓練の実施状況

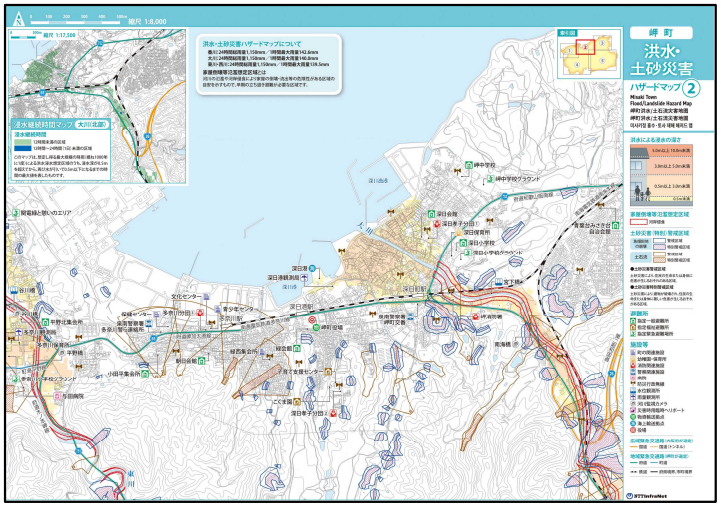
6．事業効果の定性的分析

事業効果の定性的分析【活力】

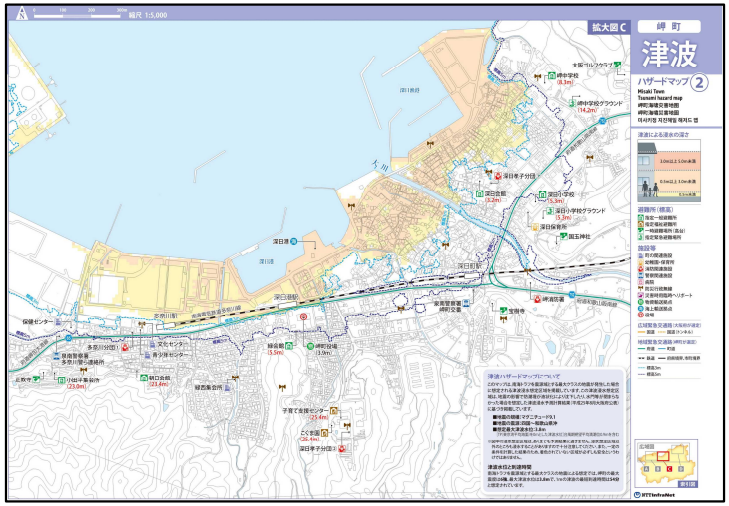
- 岬町による「岬町洪水・土砂災害や津波ハザードマップ」を作成し、HPで公表している。（R7年度末）
- 自助・共助・公助が一体となったコミュニティを形成し、市民、事業者、行政の連携による洪水等の災害リスク低減対策の推進と災害時の円滑な避難、防災基盤の強化やハザードマップの整備等により、流域住民にとって安全な暮らしを実現し、活力あるまちづくりをめざす。

岬町ハザードマップ

洪水・土砂ハザードマップ



津波ハザードマップ



洪水リスク表示図



岬町タイムライン防災プロジェクト

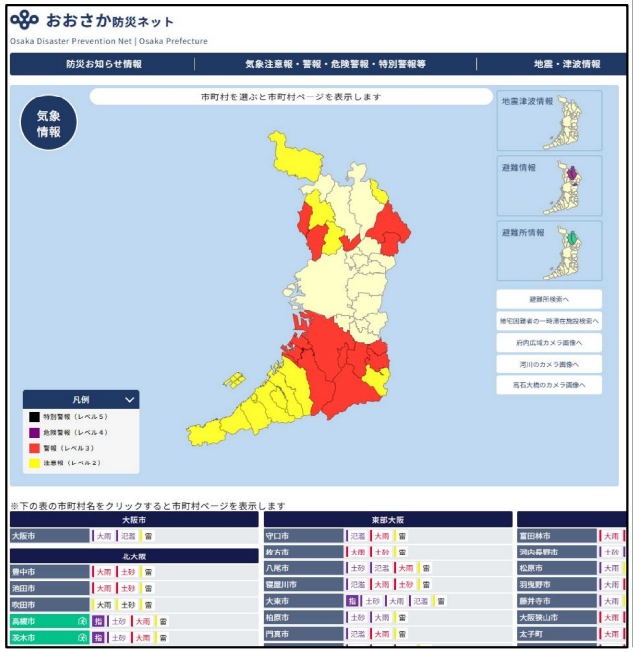


6．事業効果の定性的分析

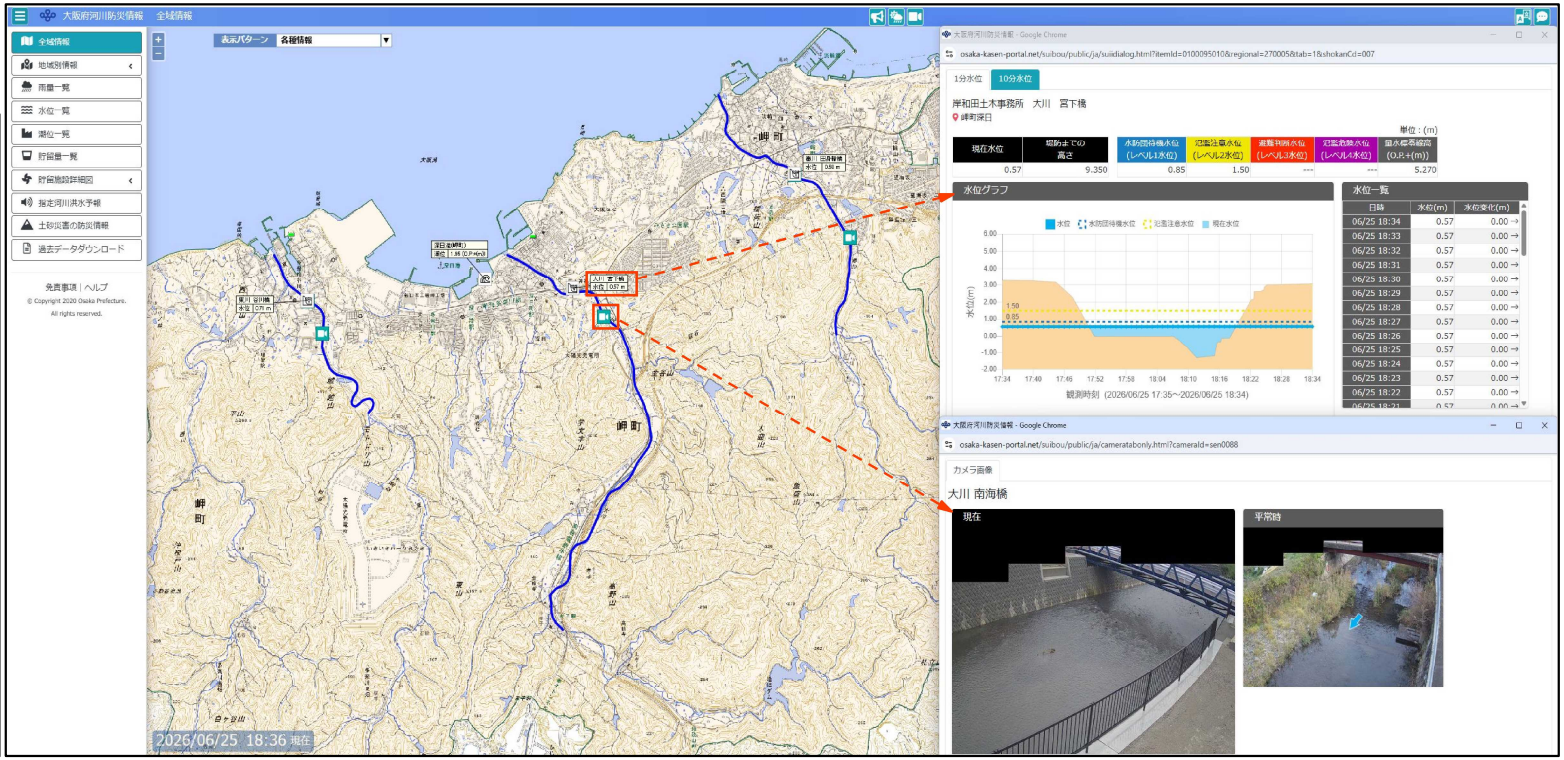
事業効果の定性的分析【安心・安全】

- 大阪府などでは、河川の氾濫や浸水に対して、流域関係市町と連携し、府民が的確に避難行動を取れるよう河川カメラやリアルタイム雨量・水位情報を提供している。
- 大川では、南海橋に水位計や河川カメラを設置し、洪水時の監視を行っている。

緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。



おおさか防災ネット
https://www.osaka-bousai.net/index.html



大阪府都市整備部河川室　河川防災情報
http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html

6．事業効果の定性的分析

事業効果の定性的分析 【快適性】

- 大川と並走する府道752号は岬町の指定するサイクリングコース（海景色　大回りコース）となっており、河川だけでなく、沿川の利用が行われている。
- 大川河口の深日港では「深日漁港ふれあいフェスタ」や「深日港フェスティバル」等のイベントが行われており、地域の観光等にも寄与している。

■深日漁港ふれあいフェスタ



出典：深日漁港共同組合

■岬町サイクリングマップ



■深日港フェスティバル



出典：岬町HP

7. 特記事項

自然環境等への影響とその対策

- 昭南橋より下流の高潮区間はコンクリートの防潮堤が整備された汽水域で、昭南橋より上流は堀込河道形状となり、棟合（むなご）橋より上流では、自然河岸が残る緑豊かな景観や、中上流部には河畔林や露岩帯河床が見られる。
- 大川流域では、両生類・爬虫類や哺乳類で重要種が確認されており、両生類・爬虫類では、“大阪府における保護上重要な野生生物レッドリスト2014”の「準絶滅危惧（NT）」に選定されているシュレーゲルアオガエルやアオダイショウが確認されている。


アオサギ


カワセミ


セグロセキレイ


ボラ


カワムツ


和歌山
④
和　中流部（河畔林）


シュレーゲルアオガエル
（国土交通省HPより）


⑤
上流部（石積）


アオダイショウ
（環境省HPより）

河口～孝子橋までの区間には、アオサギ、カワセミ、ボラ、カワムツなどの魚類、鳥類が生息しています。

大川の河口部では防潮堤が整備されていますが、上流部では自然河岸が残り、河畔林や露岩帯もみられます。


①
尾和橋上流（高潮区間）


②
南海橋付近


③
中流部

7．特記事項

自然環境等への影響とその対策

- 大川では、中流部の大町橋付近で、魚類調査及び底生動物調査を実施しており、カワムツ、カワヨシノボリなどの淡水魚類、カワニナ、ヌマエビなどの底生動物が生息している（二級河川 大川外 河川水辺環境調査（R6））。
- 近年では、回遊性魚類のうち重要種のニホンウナギやオオヨシノボリも確認されている。
- 淡水魚類だけでなく、回遊性魚類も生息しているため、川と海との連続性が保たれており、両種の生息に適した水質を有する中流的な河川環境となっている。これらの貴重な自然環境を保全していく。



魚類調査

種名	調査年			
	H13	H17	H23	R6
カワムツ	●	●	●	●
カワヨシノボリ	●	●	●	●
ドンコ	●	●	—	—
オオクチバス	—	—	●	—
ニホンウナギ	—	—	—	●
オオヨシノボリ	—	—	—	●

※過年度業務における、大町橋付近の魚類調査結果

底生動物調査

種名	調査年	
	H23	R6
カワニナ	●	●
ヌマエビ	●	●
イシマキガイ	●	●
ヨシノコカゲロウ	●	●
ナミコガタシマトビケラ	●	●
モンキマメゲンゴロウ	●	—

※過年度業務における、大町橋付近の底生動物調査結果

【魚類調査】



カワムツ



カワヨシノボリ



ニホンウナギ
（重要種）



オオヨシノボリ
（重要種）

【底生動物調査】



カワニナ※



エビ類※

※出典：大川水系河川整備計画（素案）参考資料(H24.2)より写真引用

8．対応方針（案）

対応方針（案）

事業の必要性等

- 大川では時間雨量50ミリ程度の降雨が発生した場合に、床下浸水発生のリスクがあり、家屋への被害がある。また、浸水想定区域内に位置する南海本線や南海多奈川線、第二阪和国道の深日ランプや大阪府道752号和歌山阪南線など、交通網への浸水により、周辺地域への安全性確保の影響は大きいことから、河川整備が必要不可欠である。
- 加えて、気候変動の影響により降雨量の増大が予想されており、府民への安全・安心の確保に向けた本事業の必要性がさらに高まっている。
- 現時点で再度、大川の費用対効果を算出したところ、B/Cは2.8であり、事業実施の妥当性を有する投資効果が確認できる。

事業の進捗の見込み

- 大川水系河川整備計画（H27年1月策定）及び大阪府都市整備中期計画（R3年１月）に位置付けて事業を進めており、令和7年度末で全体進捗率は30%であり、着実に成果を上げている。
- 現在、R12年に南海橋周辺の改修工事完成を目指しており、引き続き事業を継続することが妥当である。

コスト縮減や代替案等の可能性

- 河川整備計画に基づく整備を予定しているが、残土の工事間流用等による更なるコスト縮減やより効率的な対策等について引き続き検討を行う。

事業の継続

令和８年度第２回大阪府河川整備審議会【資料２－２】の修正について

・令和8年度第2回大阪府河川整備審議会【資料2-2　大川水系大川河川改修事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

	修正前	修正後
ページ	3ページ	3ページ
修正箇所		

令和８年度第２回大阪府河川整備審議会【資料２－２】の修正について

・令和8年度第2回大阪府河川整備審議会【資料2-2　大川水系大川河川改修事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

	修正前	修正後
ページ	4ページ	4ページ
修正箇所		

令和８年度第２回大阪府河川整備審議会【資料２－２】の修正について

・令和8年度第2回大阪府河川整備審議会【資料2-2　大川水系大川河川改修事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

	修正前	修正後
ページ	8ページ	8ページ
修正箇所		